

すまいる

2025年4月1日発行

No.24

〈編集・発行〉 栄聖仁会広報委員会

病院理念

患者さま一人一人の
かけがえのない人生の
支えとなるように、
人にやさしい
医療・看護・介護を
実践します

こちらのイラストは当院入院患者様の作品です

給食の味、今日を彩る 「ひなまつり」

ひな祭りにちらし寿司を食べるのはなぜ？

「寿司」は「寿を司る」と書くことから、おめでたい席で食されるようになり、なかでもちらし寿司は見た目が華やかで、ひな祭りにピッタリということで、大正時代以降食べられるようになったとされています。

患者様もいつもと違う献立に喜ばれていました。

3月3日 ひなまつり献立

- | | |
|-------------|--------|
| ❁ ちらし寿司 | ❁ 果物 |
| ❁ 南瓜饅頭のおんかけ | ❁ つみれ汁 |
| ❁ 菜の花の辛子和え | |

認知症を予防する4つの コミュニケーション方法 とは？

1. 家族や友人と会話する

直接的に相手と会話をする、言葉のやり取りだけではなく、表情や仕草、言葉のトーンなどによって脳が刺激され、認知症の予防につながります。

2. 他者との交流を持つ

家族や友人のほかにも、近所の人や地域の住民との交流を持つことが認知症の予防には欠かせません。なぜなら、あまり親しくない人との会話は、しっかりと伝わるように考えたり、慎重に話題や言葉遣いを選んだりして頭をよく使うからです。

3. 仕事を続ける

仕事は社会や人との交流を多く経験できる活動です。

定年退職がきっかけで交流する機会が減るケースもあるため、そのまま仕事を続けることも一手です。

4. 電話やメールでコミュニケーションを取る

誰かに会ってコミュニケーションを取ることが望ましいですが、中には一人で過ごすことが好きな方や他者との交流が苦手な方もいるでしょう。一人暮らしで人と話す機会がないという場合は、電話やメールでコミュニケーションをとる方法があります。

ほかにも、LINEのメッセージアプリやテレビ電話なども活用して、離れた場所に住んでいる家族とコミュニケーションを取ってみたいはいかがでしょうか。



地域社会へ「支えてつなぐ」

第1回 精神科病院のソーシャルワーカーとは？

こころの病気や精神に障がいを持たれている患者様やご家族様が、
住み慣れた街で、安心して地域生活を送ることができるようにご支援する
人権、権利擁護の専門家です。

外来初診相談、入院相談、療養中の生活相談、退院後の生活相談、家族支援、心理的相談、経済的問題などの
支援を行っています。

医療相談室 ソーシャルワーカー



せいじんかい
医療法人社団聖仁会
さかえせいじんかい
栄聖仁会病院

〒247-0014

神奈川県横浜市栄区公田町337-1

TEL : 045-895-0088 FAX : 045-893-6053

<https://sejinkai-sakae.jp/>